

安全データシート

作成 2021年3月2日
改訂 2022年3月2日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	シークアリークEU (Safety Seal Seek A Leak)
供給者の会社名	株式会社プリーマタイヤサプライズ
担当部署	本社営業部
住所	東京都新宿区新宿1-25-14第2関根ビル2F
電話番号	03-3358-6908
推奨用途及び使用上の制限	タイヤの傷穴を特定する為の発見液(濃縮タイプ)

2. 危険有害性の要約 GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分に該当しない 自然発火性液体 区分に該当しない 自己発熱性化学品 区分に該当しない 水反応可燃性化学品 区分に該当しない
健康有害性	急性毒性(経口) 区分4 急性毒性(経皮) 区分に該当しない 急性毒性(吸入:蒸気) 区分に該当しない 皮膚腐食性及び刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性)
環境有害性	水生環境有害性(急性) 区分2 水生環境有害性(長期間) 区分2

*記載のない物は区分に該当しないまたは分類できない

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
飲み込むと有害
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き 安全対策

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。

応急措置	<p>口をすすぐこと。 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。 飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。</p>
保管	<p>漏出物は回収すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。</p>
廃棄	<p>施錠して保管すること。 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
アルキル(C=10~16)ベンゼンスルホン酸ナトリウム	35%	特定できない	(3)-1906	既存	68081-81-2
キシレンスルホン酸ナトリウム	3%	C8H10O3 S.Na	(3)-1909	既存	1300-72-7
硫酸ナトリウム	<1%	Na2SO4	(1)-501	既存	7757-82-6
ドデシルベンゼン	<1%	CH3(CH2) 11C6H5	(3)-21	既存	123-01-3
水	61%	H2O	対象外(天然物)	既存	7732-18-5

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)(政令番号: 30)(35%)

4. 応急措置

吸入した場合	<p>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 医師の診断、手当てを受けること。</p>
皮膚に付着した場合	<p>汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 皮膚を速やかに洗浄すること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。</p>
眼に入った場合	<p>水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。</p>

飲み込んだ場合		口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
5. 火災時の措置		
消火剤		この製品自体は燃焼しないが、水分が蒸発した後は燃焼するおそれがある。 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。 本製品が燃焼した場合、粉末消火剤、二酸化炭素、散水、水噴霧、耐アルコール性泡消火剤、砂を用いて消火する。
使ってはならない消火剤 特有の危険有害性		棒状注水。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 吸入すると有害となるおそれがある。 接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法		消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護		空気式呼吸器(SCBA)を着用する。 防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置		直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけない。 風上に留まる。 低地から離れる。 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項		立ち入る前に、密閉された場所を換気する。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法・機材		希釈水は汚染を引き起こすおそれがある。 危険でなければ漏れを止める。 少量の場合、乾燥土、砂、ウエスや不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。 大量の場合、液体の前方にせきを作り、後で廃棄する。
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	安全取扱注意事項	接触、吸入又は飲み込まないこと。 眼に入れないこと。 排気用の換気を行うこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 取扱い後は手をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。

接触回避
衛生対策 『10. 安定性及び反応性』を参照。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件 保管場所には本製品を貯蔵し又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

酸化剤から離して保管する。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。

安全な容器包装材料 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2020年版)	ACGIH (2020年版)
アルキル(C=10~16)ベンゼン スルホン酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定
キシレンスルホン酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定
硫酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定
ドデシルベンゼン	未設定	未設定	未設定
水	未設定	未設定	未設定

設備対策

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
工程で蒸気、ヒューム、ミストが発生するときは、換気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具 保護手袋を着用すること。
眼の保護具 化学飛沫用のゴーグル及び規格にあった顔面保護具を着用すること。
安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。

皮膚及び身体の保護具 保護面を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態	液体
	形状	液体
	色	黄色
臭い		情報なし
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		7.0~8.0
融点・凝固点		凝固点: -4°C
沸点、初留点及び沸騰範囲		100°C(水)
引火点		>93.9°C
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
燃焼性(固体、気体)		適用されない
燃焼又は爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度(空気=1)		データなし
比重(密度)		1.07(25°C)
溶解度		水に可溶
n-オクタノール/水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
化学的安定性	通常の条件においては安定である。
危険有害反応可能性	過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。 不燃性であるが、水分が蒸発した後は燃焼するおそれがある。
避けるべき条件	水分が蒸発した後は、熱、火花、裸火などの着火源。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	燃焼及び熱分解により一酸化炭素、二酸化炭素、硫黄酸化物、不完全燃焼炭素化合物が発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	成分の急性毒性値は、アルキル(C=10~16)ベンゼンスルホン酸ナトリウム 404mg/kg、キシレンスルホン酸ナトリウム >7000mg/kg、硫酸ナトリウム >2000mg/kg、ドデシルベンゼン 17000mg/kg、水 >100000mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が1100mg/kgのため、GHS:区分4「飲み込むと有害」に該当する。
	経皮	ウサギLD50>2000mg/kgの記述(Safety Seal Europe AB「Safety Seal Seek A Leak」SDS(06.07.2018))から、GHS:区分外に該当する。
	吸入(気体)	製品の形状がGHS定義による液体のため分類対象外に該当する。
	吸入(蒸気)	成分の急性毒性値は、水 >1000000ppmであり、混合物の急性毒性推定値が1000000ppmのため、GHS:区分外に該当する。(混合物の0.5%は毒性が未知の成分からなる。)
	吸入(粉じん)	製品の形状がGHS定義による液体のため分類対象外に該当する。
	吸入(ミスト)	データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性及び刺激性	アルキル(C=10~16)ベンゼンスルホン酸ナトリウム、ドデシルベンゼンが区分2で、区分2の成分濃度の合計が濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2「皮膚刺激」に該当する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	アルキル(C=10~16)ベンゼンスルホン酸ナトリウムが区分1で、濃度限界(3%)以上のため、GHS:区分1「重篤な眼の損傷」に該当する。
呼吸器感作性	データがなく分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データがなく分類できない。
発がん性	データがなく分類できない。
生殖毒性	データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	アルキル(C=10~16)ベンゼンスルホン酸ナトリウムが区分3(気道刺激性)で、濃度限界(20%)以上のため、GHS:区分3(気道刺激性)「呼吸器への刺激のおそれ」に該当する。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データがなく分類できない。
吸引性呼吸器有害性	データ不足のため分類できない。
12. 環境影響情報	
水生環境有害性(急性)	ドデシルベンゼンが区分1、アルキル(C=10~16)ベンゼンスルホン酸ナトリウムが区分2で、区分1の成分濃度×毒性乗率×10 + 区分2の成分濃度の濃度合計が濃度限界(25%)以上のため、GHS:区分2「水生生物に毒性」に該当する。(本混合物の成分3%については水生環境有害性が不明である。)
水生環境有害性(長期間)	アルキル(C=10~16)ベンゼンスルホン酸ナトリウムが区分2で、濃度限界(25%)以上のため、GHS:区分2「長期継続的影響により水生生物に毒性」に該当する。(本混合物の成分3%については水生環境有害性が不明である。)
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意
国際規則

Regulatory Information by Sea	Complied with IMO.
UN No.	3082
Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
Class	9
Packing Group	III
Marine Pollutant	Applicable
Noxious Liquid Substance	Not Applicable

Regulatory Information by Air	Complied with ICAO/IATA.
UN No.	3082
Proper Shipping Name	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s.
Class	9
Packing Group	III

国内規制

陸上規制	非該当
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	3082
品名	環境有害物質(液体)
クラス	9
容器等級	III
海洋汚染物質	該当
有害液体物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	3082
品名	環境有害物質(液体)
クラス	9
等級	3

特別の安全対策

輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

171

15. 適用法令
化審法

優先評価化学物質(法第2条第5項)(アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(アルキルは炭素数が10から14までの直鎖アルカンの基に限る。))

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。))

船舶安全法
航空法

有害性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
その他の有害物件(施行規則第194条危険物告示別表第1)

16. その他の情報

連絡先

参考文献

株式会社プリーマタイヤサプライズ

RTECS

ECHA C&L Inventory Database

ECHA Registered substances Database

Safety Seal Europe AB「Safety Seal Seek A Leak」

SDS(06.07.2018)

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。